

## “ふじのくに”士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

事業番号	23	事業名	しずおか富2、3っ子（ふじさんっこ）推進事業費
------	----	-----	-------------------------

### 1 基本情報

実施日／班名	10月14日 第2班	時 間	13:05～14:06
担当課名	健康福祉部こども未来課	事業費	227,000千円

### 2 判定結果

結 果	判定区分	県民評価者 判定内訳(人)			
県の関与必要 (見直し・縮小)	判定区分	県の関与不要	7		
		県の関与必要	見直し・縮小	18	
			現 行・拡充	6	
	判定理由	結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由（人、複数回答有）			
		県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき		10	
		事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき		9	
事業の効率化を図りコストを縮減すべき		6			
		サービスの水準や対象者を見直すべき	3		
		他の事業との関係を整理すべき	3		

### 3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

#### 【県の関与不要】

- ・何を評価して判定すればいいのか、大きすぎて判らない。研修やセミナー等は県主体で良いと思うが、活動的なものは市町が主体となってやるべきではないかと考える。
- ・教育委員会等がやれば良い。グローバルすぎて判りづらい。もっとマクロ(市町村)レベルで良いのではないか。
- ・子育て支援団体の努力が感じられない。この事業をやることによって子どもを増やしたいと思えない。
- ・地域サロンの活動があるため。
- ・支援策が明確になっていないのではないか。
- ・県主導では細かいところまで行き届かない。資金援助ではなく市町の相談に対応するシステムにした方が良いと思う。

#### 【県の関与必要（見直し・縮小）】

- ・本来は市町村が主体となって行なうべき。ただし、県からの方向性、サービスの質の均一化は市町村に指導していくべきではないか？ 安心こども基金は市町村からの計画提出に基づき運用すべきではないか？ 子育て指導員育成も必要であるが、子育て指導員になることへの不安感を払拭するようなバックアップ、つまりモンペ対象、ケガなどの場合の法的フォローなどが必要である。”ふじさんっこ”という名称が抽象的すぎて、他の事業とダブる面があるのではないかと不安に思う。
- ・市町との連携を、業務区分をはっきりさせた上で強化すべき。方向性があるか？ 人材育成ならば資格制度、企画を明確にすべき。

- ・県、市町が作るサービス機関の活用より、「家庭中心の子育て」の構築を重点的に考慮すべきである。
- ・助成が多系統になってしまい、県民として利用し難く思えます。基金がなくなった場合も継続していく事業か単発事業かを明確化したらいかがか？ 研修・助成が多重払いとなっていないか？あやふやに思えます。
- ・子育て支援と言う大きな枠での対応が主でない。個々の事業内容への支援の具体性が見えてこない。“相談事業”として対応していても実の支援・目的の達成はできないのではないのですか。支援団体にどれほど出向き、向き合って本当の意味の支援が何であるか議論を尽くしましたか？
- ・厚生労働省と文部科学省の縦割り行政の弊害を感じる。60分の討議では結論が難しい。
- ・安心して子育てできるよう継続していただくことは大前提。経費は前例にとらわれず見直すことにより、効率的な運用ができると思う。ネットワークを最大限に活用し、ムダを排除してください。
- ・明確な話がないから見直すことが大事。あまり話が分からない。
- ・子どもの人数が減っていることが分かっているので、これから参加する人数がどんどん少なくなってきたときに、事業をやめてしまったりすることになれば、本当に頼りたい人が困ることになってしまう。費用がなくなったときの事も考えてほしい。
- ・普通の学校教員は、発達障害についての講習は受けているかもしれませんが、特別支援の知識を学び身につけてきた方とは違うので、児童クラブに対する指導は行えないと思います。現在、児童クラブへの子どもの対応については、先生→親→児童クラブの指導員となっていて、児童クラブであった問題は親が教師に伝えれば互いに伝わるが、伝えなければそれきり…となってしまうので、きちんと発達障害と診察されていない子については、親への情報提供やフォローなども重要になると思います。そのあたりはどのようにしていくのでしょうか？民間団体に自ら関わっていない親御さんへはどのような対応をなさっているのでしょうか？このような方々も多いので少子化にもつながっているのでは？自ら活動に参加する人は子育てを楽しんでいるので、少子化とはあまり結びつかないのでは？団体に支援してどのような成果があったのか(具体的に)知りたいです。
- ・研修については、民間であればもっと内容を絞って行う。

#### 【県の関与必要（現行・拡充）】

- ・成果について更に詳しく調査して、次年度に生かしてください。
- ・支援事業のことをNPOや県民が容易に情報収集できるようになっていますか。市町とのコミュニケーションを深めて連携して取り組めるようになるとういのではないか。
- ・住んでいる町の子どもを生み育てる環境を是非充実して欲しい。